



戦時下に於ける

社會政策學院の使命

學院長 協理理事 鹽澤 昌 貞

支那事變突發以來一年有餘、今や我軍官兵は打つて一丸となり、益々長期抗戦の陣容を固め、

我が社會政策學院は、茲に鑑み時下の社會政策の特別講習と、戦時下の重要諸問題を取り集め之を



芝公園第二十四號地に移し九月

以上これを要するに勞資調整方策として此の際直ちに實行に移して以て實効ありと思料せられる方法

返し述べたる如く勞資双方をして勞資一體産業報國の精神に徹せしむることである。法制的手段に依る

社會政策學院概要

財団法人協働會は大正八年末創立後、同會の主要なる事業の一として教育的に社會政策を一般に徹

月第九回講習よりは甚開職務にある者の便宜を考慮し夜間講習を爲したるが、豫期以上の好成績を

密接な關係を保ち、殆んどあらゆる方面の事業に於て中堅人士として現に活躍しつゝある二千八百を

適當なる方法を以て産業報國の精神を基調とする勞資調整の機關を設け勞資各々之が固有なる運用を

以上これを要するに勞資調整方策として此の際直ちに實行に移して以て實効ありと思料せられる方法

返し述べたる如く勞資双方をして勞資一體産業報國の精神に徹せしむることである。法制的手段に依る

以上これを要するに勞資調整方策として此の際直ちに實行に移して以て實効ありと思料せられる方法

返し述べたる如く勞資双方をして勞資一體産業報國の精神に徹せしむることである。法制的手段に依る

果を期待し得ると思ふのである。斯る觀望より今日直ちに實行に移すべき方法として我等は前述の如

一大運動の狼火を擧げんとしつゝあることは吾人の欣快に堪ざるものと云ふのである。聞くところ